

1 学 年 第1・2学年

2 実践内容

○ICTを活用した、主体的・対話的で深い学び

① 1年国語科 動画機能を使って、「あさのおひさま」音読練習

1.2年生活科 オクリンクを使って「野菜の観察」

ドリルパーク、カメラや動画機能、オクリンク、ミュージックラボなど低学年のうちから積極的にICTに触れる機会を増やすよう心掛けた。

国語科「あさのおひさま」の音読練習では、動画で撮り、視聴することで、自分たちの表現の良さや課題を発見し、次の練習に生かすようにした。

生活科では、自分たちが植えた野菜をオクリンクのカメラで撮影し、タブレットの画像を見ながら、教室で絵を描いた。

毎回、撮影した画像を、前の画像とつなげていくことで、野菜の成長の様子を経過観察していった。



②1・2年生活科「学校紹介」で他校とのリモート授業

人数が少なく、人前で話すことが苦手であったり多様な意見を聞く機会が少なかったりすることからミートを使ってリモート授業を行った。

生活科の時間の中で、浦川小の1・2年生と自己紹介や学校自慢を6月下旬に行った。

(浦川小学校とは、5月に全校児童同士で自己紹介、6月上旬には、1・2年同士で自己紹介を行っている。)



3 成果と課題

○ドリルパークやオクリンク等に積極的に触れさせることで、子供たちは、ICTに興味をもつことができた。国語科の実践では、自分たちの音読の様子を客観的に見ることで、良さや課題に気付き、次の練習に意欲的に取り組もうとする様子が見られた。

また、生活科の実践では、つながった画像を見ることで、野菜の成長を分かりやすく見ることができ、興味・関心を高めることができた。

○リモートの授業を行うことで、いろいろな友達と関わる機会を得ることができ、積極性を高めることにつながった。他校の様子を知ること、多様な見方や考え方を知ることができ、刺激にもなったし、「次はこうしてみたい。」という主体性にもつながった。

●野菜を見ながら観察スケッチを書く方が、五感で感じられるようにも思う。

●交流では、時間の調整や確保が課題になる。